

この(仮称)駅前中央図書館基本計画(案)には、提出者数75名で、意見の総数は333件と、多くのご意見やご要望が寄せられました。全てのご意見やご要望を掲載するのは混乱するため、概要を記載し、似通ったご意見や、本件に直接関係しないものについては一部省略させていただいております。

項目	属性	意見概要	回答
はじめに	経緯	<p>・「図書館の駅前東館跡地への移転に伴い」と記載されているが、移転はいつどのような手続きで決定したのか、説明をお願いします。</p>	<p>・駅前東館跡地については、中心市街地の活性化に向けた活用策を検討するため、平成25年度に有識者で構成する「まちづくり戦略検討会議」を設置し、市民への意見公募や市内関係団体へのヒヤリングを行うとともに、他都市事例・本市の状況調査などの結果を踏まえ、図書館や広場などの公共施設と民間施設との複合施設整備により、中心市街地活性化につながる活用を図る方向性を整理しました。</p> <p>平成26年度には、この方向性をもとに、市において実現可能性や効果・手法などを検討し、民間事業者と市が協力し、図書館を含む開発を行うことで、中心市街地の活性化を図る方針を決定しました。また、並行して、経済団体等で構成する中心市街地活性化協議会と連携し、平成27年度に策定した「三原市中心市街地活性化基本計画」においても、活性化の手段として、おもてなし交流ゾーン内への図書館を含む複合施設整備事業が位置づけられるなど、さまざまな取組の中で検討し、決定したものです。</p> <p>この間、市議会においても駅前東館跡地活用調査特別委員会で約2年間をかけて検討を行われ、「複合施設整備による中心市街地活性化を図る」という方向性が示されました。</p>
	市民の意見を聞くべきである	<p>また、「市民の意見を聞くべきである」というご意見は次のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度事業に取り掛かると、後戻り出来ないことを肝に銘じて、幅広く市民の意見を聞き、ゆっくり考えてほしい。 ・駅前の活用策はもう少し時間を掛け、市民の意見を聞いて欲しい。 ・専門家、有識者に頼る方針決定に対しても再考を促したいと考える。 	<p>・有識者による検討や各種団体との意見交換、市民への意見募集、民間事業者の進出可能性調査の実施、市議会と連携した検討など、さまざまな経過を踏まえ、民間の提案を活かしながら、より良い活用を図るという活用方針をまとめたものであり、市民意見を取り入れながら検討したものです。</p> <p>また、中心市街地活性化に向けた事業のひとつとして駅前東館跡地活用事業を位置づけている三原市中心市街地活性化基本計画の策定にあっても、経済団体などをはじめとしたさまざまな団体の意見を伺いながら、まとめたものであります。</p> <p>この基本計画(案)についても、図書館利用者や学校関係者等で構成される三原市図書館協議会やボランティア団体等にも意見や要望をいただいたうえでまとめたものであり、このパブリックコメントにより、さらに市民の皆様から、さまざまなご意見をいただいております。</p> <p>中心市街地の衰退が進んでいる中、ゆっくりと時間をかけるのではなく、早急な対策が必要であると判断したものです。</p>
	駅前移転賛成	<p>駅前東館跡地への移転については</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前に中央図書館を作って有効に利用することに賛成する、嬉しい。(その他、同じ表現の意見7名) ・老朽化への対応と機能充実の為に駅前移転には大賛成。 ・中央図書館は市の中核となる図書館なので、全市的に利用しやすくなる駅前整備は妥当だと思う。 ・駅前に移転することは、長年の行政課題が解決されることであり、まちの活性化につながると期待できる。 ・天満屋の撤退後は広場になっていたが、市民の税金で取得した土地なので、図書館などを整備し、有効に使っていくことに賛成です。 ・駅前は市のイメージを形成する重要な場であり、顔である。民間だけによる開発が難しいなら、経済状況に左右されず、半永続的に運営できる公共施設の立地によって、イメージ向上を目指すことは当然である。 ・駅前移転は、三原を訪れる人達の利便に資することとなり、ひいては来三人口の増加に貢献するとともに、駅前商業地区の発展にも寄与する。 ・三原市の窓口といえる駅前に文化的施設の図書館を置くことは、文化を大切にする街というアピールにもつながっていくと思う。 ・駅前に時間待ちできる場所が少なく、誰でも利用できる図書館ができれば多くの人が利用すると思うので、移転に賛成する。 <p>(次ページへ続く)</p>	<p>・駅前への中央図書館移転は、現在の中央図書館の課題解決(老朽化、閲覧スペースの不足、バリアフリー化の未対応など)を図るとともに、図書館だけではなく、民間施設も合わせて整備することで、駅周辺のにぎわいを創出し、この集客効果を周辺へも波及させ、中心市街地全体の活性化をめざしています。</p> <p>図書館については、面積を現在の1.5倍にあたる3,000㎡程度とし、カフェなどを併設し、雰囲気が良く過ごしやすい空間にするなど、機能を充実させることで、これまであまり利用しなかった人にも利用されるような図書館をめざします。</p> <p>ご期待に沿えるよう、より良い図書館整備に取り組んでいきます。</p>

項目	属性	意見概要	回答
はじめに			(上記の通り)
	駅前移転賛成(続き)	<ul style="list-style-type: none"> ・昔に比べ公共交通機関の便数が減り、駅周辺で乗り継ぎのため時間待ちをする機会が増えている。交通の結節点である駅前に図書館があれば、誰もが気軽に立ち寄れる。 ・中央図書館に来たついでに、歩いて周辺の店舗に立ち寄る人が多くなり、マイカー利用では行く人の少ない駅周辺やマリロード等の活性化により、魅力ある店舗等ができる、という相乗効果が期待できると思う。 ・駅前という立地に、情報拠点として中央図書館が設置されることが重要であり、図書館の新たな機能やサービスが提供され、更には併設される民間施設や広場との相乗効果により、人と人との交流が生まれ、まちのにぎわいが期待できる。 ・電車を利用しないので駅前にあまり行かないが、図書館ができれば駅前に行く機会が増えると思う。 ・大きな広場はイベントがあるときは便利だが、イベントが無い時はもったいないと感じる。図書館などができれば、人の流れができ、にぎわい感が生まれると期待する。 等、駅前に移転することの利点や期待などのご意見が20件ありました。 ・公共交通機関でのアクセスの良い三原駅前に、中央図書館と多目的公園を整備することは、市民の中で交通弱者と言われる人達に対しても等しく文化的活動を支援すると言う意味で、非常に有益と考える。 といった「交通の便の良さ」に賛同されるご意見が2件ありました。 	
	今の場所で良い	<ul style="list-style-type: none"> ・「今のままで良い」というご意見が8名(9件)、ペアシティ三原西館のほうが良いというご意見が1名(1件)からありました。 ・現在の場所で建設してほしい。 ・現在の図書館を改築するべき。 ・現在地での建て替えが良い。 ・エレベーターや十分なスペースが確保できないことは、増設すれば解決できる。 ・駐車場は移転する消防本部等で確保できるのではないかと、検討が必要。 ・現在の中央図書館の開館前には、櫛の下のベンチで開館を待つ利用者が大勢居る。文化ゾーンとして非常に良い場所と思っている。 ・現在の中央図書館を頻繁に利用しているが、不足を感じないので、何故中央図書館を新築しなければならないのか疑問を感じるため、移転に反対する。 ・現在の中央図書館近辺には、中央公民館、歴史民俗資料館や病院、大型商業施設等があり利用しやすい。また駐車場、バス停があり条件が整っているため、税金を使ってまで新しい中央図書館を建てる理由が無い。よって(仮称)駅前中央図書館移転計画に反対する。 ・現在の中央図書館に概ね利用者は満足しており、施設の老朽化やエレベーターが無いなどの問題は、現在の場所で改築するなど、三原市立図書館協議会で議論してはどうか。駐車場も三原市消防本部移転後の敷地につくれるのではないかと。 ・現在の中央図書館利用者の大多数は、老人世代である。老人を中心に徒歩で利用している施設を、混雑する駅前に移転するのは間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館の駅前への移転は、現中央図書館の課題解決を図ることにあわせ、中心市街地の中でも特に駅周辺の衰退が進む中で、駅前に位置する駅前東館跡地を市と民間事業者が連携し、新たなにぎわい交流拠点として活用し、「人が集まり、にぎわいにつながる場所」とし、中心市街地を活性化するという大きな目的を有しています。 ・公共交通機関でのアクセスの良い駅前ですので、高齢者等も利用される事に支障はないと考えております。 ご理解をお願いします。
	ハコモノ反対、税の投入、大型の公共事業反対	<ul style="list-style-type: none"> また、「ハコモノ反対」というご意見は、次のとおりでした。 ・わざわざ駅前に建てなくても、現在の中央図書館で十分であり、そもそも図書館は安らげる場所であってほしいし、新たなハコモノを作ることに疑問を感じる。 ・企業城下町三原市から企業が撤退、人口も減少し税収も厳しい時代に更なる箱物はいらない。 ・企業の撤退などがあり税収の増加が望めないのに、無駄に図書館を増やさず市に実益のある施設、公共施設を希望する。 ・図書館などのハコモノは必要ない。市民が自由に憩える公園、広場として整備することを要望する。 ・市民の反対意見を押し切ってまで、駅前に図書館を建設する行政の行動に疑問を感じる。 また「この費用は他の施策に使うべきだ」というご意見は ・駅前に中央図書館を建設することを急ぐ必要はなく、貧困家庭の子どもや老人医療などに税金を使って欲しい。 ・限られた三原市の財政を、きちんと有効に使って欲しい。 ・税金を投入して大型施設をつくる行政手法を見直し、人材を育てること、市民の生活実態を把握し、ニーズに沿った施策を行うこと。 ・豊かな歴史や文化にふさわしく、現在まで残っている(既に破壊されているものも含めて)ものを保存し、修復し、目に見える形で残す方に予算を充てるべきだと考える。 ・図書館移転に18億円の税金を使うより、6億円で市内小中学校全校へのエアコン設置が実現できるので、そちらに税金を使って欲しい。 ・中央図書館の移転に10数億円かけると聞いているが、そのお金は子育てや学生達への支援に使って欲しい。 ・三原に絶対的に不足している児童館の設置が先である。 ・中央図書館の移転にかかるお金が大きすぎる。もう少し市民が楽に暮らせるようお金の使い方を考えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業は、現中央図書館の課題解決を図ることにあわせ、中心市街地の活性化にも寄与する駅前東館跡地の活用策として検討したものであり、無駄なハコモノをつくることではありません。 市としても、建物を建てれば活性化するというものではないと考えております。例えば、図書館・民間施設と広場が連携したイベントの開催、また図書館と周辺商店街が連携したイベントの開催など、様々な企画によって、新たなにぎわい交流拠点として、中心市街地活性化につなげていくことをめざしております。 今回の事業に取り組むことで、市が実施しているその他のサービスを切り捨てることはなく、生活を守る福祉、子育て、教育などのさまざまな事業についても、十分考慮しながら、適切に実施していきます。

項目	属性	意見概要	回答
はじめに	広場について	<p>また、広場について多くのご意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本には、駅に降り立った時に素敵な公園が広がる場所がまだ少ない。是非先駆けて三原市に実施してほしい。 ・福山市中央図書館のように、くつろげる公園が隣にあるのはすごく良いと思う。 ・立派な計画で出来たら嬉しいです。図書館は現在の中央図書館を改造してください。駅前には市民の憩いの場、催しの場、災害時の場として残してください。 ・広場のまま公園、カフェ、食堂として活用してほしい。 ・三原駅は、海への動線をもっと活用すべきで、箱物をつくるより、広い空間で空と海が見られるような場作りが必要。 ・市民広場は、音楽、踊り、子どもの遊び場、かき小屋、祭りなどで活用されたが、このようなイベントは、なかなかできない。 ・駅前には気軽に家族で食事できる場所、祭りにステージとして利用できる木立やモニュメントを配し市民憩いの場所として整備してはどうか。その1区画に移動図書館のスペースがあっても良いと思う。 ・三原駅前は空いていることで、すごく可能性を有していると思う。 	<p>・広場は、ペアシティ三原東館の解体後、次の活用策を決定するまでの間、暫定的に活用してきたものです。この間、やっさ祭りなど大きなイベントの会場としても活用されるなどにぎわいづくりに貢献してきましたが、特に平日ではイベント開催は困難なため、活用は進まず、駅周辺の人通りも大きく減少し、衰退が進んでいる状況です。</p> <p>そのため、官民連携による複合施設を整備し、新たににぎわい集客拠点としての活用を図ることとしましたが、広場も一部残し、図書館や民間施設と連携を図りながら、憩いの場、イベント開催などによるにぎわいの場、交流の場として利用いただける空間を整備することにしています。</p>
	現在の中央図書館の不満	<p>「中央図書館の問題点」の項目については、次の意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の中央図書館は古く、使い勝手が悪い。また座って本を読むスペースが少ないので、落ち着いて本を読むスペースを増やしてほしい。 ・現在の中央図書館は駐車場、通路スペース、閲覧スペースが狭く、2階は暗くエレベーターも無く不満。 ・利用率等が近隣自治体の図書館に比べて高い割に、施設がブア。エレベーターの未整備や通路の狭隘さなど社会的弱者に対する配慮が欠けていた。 ・入りやすい図書館にして欲しい。図書館は行き慣れていない人には敷居が高いと思う。また現在の中央図書館は施設が古く、狭いため余計に入りにくい。 ・老朽化しており、駐車場が少ない、エレベーターや憩いの場が無いことなど課題解決のため、計画どおり、新たな中央図書館は必要。 ・現在の中央図書館の機能では限界があり、他施設の改修による活用なども難しく、新築でないといけないと感じた。 <p>といったように通路や閲覧スペースの狭さやエレベーター不備などが多く指摘されています。それ以外にも</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埃が堆積し不衛生な資料がある。新しい図書館では対策を講じて欲しい。 ・現在の中央図書館は閉館時間が早く、いつも駐車場が満車のため利用したことがない。 ・市民ニーズに対応した利用しやすい図書館とあるが、ニーズは何か？ 	<p>・現在の中央図書館は昭和53年の建築であり、ご指摘のとおり施設は老朽化し、通路や閲覧スペースが不足しバリアフリー化に対応できていない状況です。</p> <p>・開架している図書に埃があるというご指摘に関しましては、当館の不行き届きであり、お詫びし、対策を講じます。</p> <p>・閉館時間につきましては今後の検討課題となりますが、駅前という立地条件を考慮すると、現在より延長することが望ましいと考えております。</p> <p>・駐車場につきましては、後述で考えを記します。</p> <p>・市民ニーズは、記載している問題点に対する対応や様々なご意見、ご要望であり、また、現状の中央図書館で長年に渡り運営してきた経験に基づいたものも含まれております。</p>
	図書館の運営上の望ましい基準について	<p>この項目については、次のご意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進行する中、現在の人口をもとに施設拡大されるのはなぜなのか。公共施設等総合管理計画と矛盾していないか。 ・三原市全体の図書館を今後どうして行かのかの計画は、いつ示される予定なのか。 ・今後、三原市全体の図書館の統廃合が行われる可能性はあるのか。 <p>といった「公共施設等総合管理計画」に関連するご指摘、ご質問です。</p> <p>また、面積に関しては次のご意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積3,000㎡は狭いと思う。 ・ゆったりとした図書館を目指すなら蔵書数は30年後の所蔵図書館数を想定し計算すべき。 	<p>・公共施設等総合管理計画において、公共施設等全体の基本的な方針を示しており、施設総量の適正化の中で「政策上、施設の新設が必要な場合は、総量削減の目標数値を考慮して行います」としています。中央図書館の駅前への移転は、施設の新設ではありませんが、現中央図書館の課題解決とともに、駅前東館跡地に図書館だけではなく、民間施設を合わせて整備することで、官民連携による活用を図り、中心市街地活性化につながるような土地活用を進めることが必要と判断したものです。</p> <p>・また、現在ある公共施設すべてについて、それぞれの面積を縮減するものではなく、施設で提供しているサービスが今後も必要か、有効に施設が活用されているか、などの点から、必要な施設は今後も必要な規模で維持し、市全体での削減面積を考慮しながら、総量削減を進めていくものです。</p> <p>・三原市全体の図書館の統廃合については、現在策定している施設類型別実施計画でそれぞれの今後の方向性を検討していますが、図書館機能は今後も各地域で必要な機能と考えており、周辺施設との複合化なども検討しながら、今後さらに整理していきます。</p> <p>・文部科学省が「図書館の設置及び運営上望ましい基準」を定めており、人口規模から本市の図書館全体で不足している面積を1,000㎡程度と捉え、現中央図書館のスペース不足や駅前東館跡地の面積などから総合的に勘案し、新たな中央図書館の面積を3,000㎡と整理しました。席数も増加させることを想定しており、妥当な面積規模であると判断しています。</p> <p>また、この基準では、仮に将来、三原市の人口が7万人程度になった場合においても、望ましいとされる面積とほぼ同じ水準であり、過度な面積ではないと考えております。</p> <p>・蔵書数については、長期的視野での検討も必要ではありますが、中央図書館の駅前への移転を機に、蔵書の見直しや整理を行い、利用者へのサービス向上とともに、効率的な運用を行うことができる図書館をめざしたいと考えます。</p>

項目	属性	意見概要	回答
はじめに	アンケートでは満足度が高いのでは	<ul style="list-style-type: none"> 現在の中央図書館はエレベーターが無く、駐車台数少ないという問題点はあるが、満足度は高い。というご指摘や アンケートでは満足度高い。民意とかけ離れている。 アンケート結果から、現状の中央図書館の本棚の配置や、机・椅子などの設置数、レイアウト等に不満を持っている利用者が少なくないという判断はおかしくないのか。 利用者アンケート調査の結果では、現在の図書館の設備・運用について、概ね満足している結果になっています。「満足」「やや満足」を合わせると、Web 検索・その他以外の項目では、70%を超えています。このようなアンケート結果が有るにもかかわらず、十数億円をかけて駅前に移転を実施する必要性について説明願います。 	<ul style="list-style-type: none"> 6ページ「アンケートから読み取れる傾向、問題点」記載内容の一部が分かりにくいいため、次のとおり修正します。 ○「貸出・予約」においては「やや不満」と「不満」が回答数のうち10%しかないが、「施設(建物・階段・照明)」の「やや不満」と「不満」が回答数のうち18%、「設備(本棚・机・椅子など)」の「やや不満」と「不満」が回答数のうち22%と満足度が低く、現状の中央図書館の本棚の配置や、机・椅子などの設置数、レイアウト等に不満を持っている利用者が少なくないことを表している。 ○本の貸出し等のサービスの満足度に比較し、設備に対する満足度が低いことは間違いのないことであると考えております。また、このアンケート実施後の時代の流れなどにより、本の貸出を中心とした従来の図書館機能に加え、課題解決やサードプレイス(職場でも、自宅でもない第三の居場所)などの役割も果たすことが図書館には求められております。本市でもそのような図書館をめざしていくべきと考えており、そのような点からは現在の図書館では十分に役割を果たせていないと考えております。また、本パブリックコメントにおいても現状への不満の声が非常に多く届いております。
	目標基準例との比較	<ul style="list-style-type: none"> この項目については、次のご意見がありました。 「必要な資料購入費」とは、どの程度だと考えているのか。現在の資料購入費は、三原市にとっての必要量・必要額を満たしているのか。 現在、「必要な資料購入費」が確保できていないなら、その理由を知りたい。また、その理由は、今後は解消されるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 表7「目標基準例との比較」において、平成25年度の本市での資料費は、10万人規模自治体に比較し95%程度であり、ほぼ他市と同水準であると判断しております。 なお、この基準値は「各人口段階の貸出密度上位10%の市町村の平均数値」であり、全国的に貸出資料数が多い、人気の高い図書館の基準であり、図書館全ての平均値を計上しているものではなく、目安としては有効と考えておりますが、絶対的な基準というものではありません。 今後、財政的なバランスも考慮しながら、適切な資料購入費を確保し、サービス向上に努めていきます。
基本理念		<ul style="list-style-type: none"> この項目については、様々なご意見が寄せられました。 「調べたい、勉強したい意欲に応えられる学べる場」を追加してください。 「個がつながり輪が広がる図書館」は図書館のあるべき姿として適当ではない。その役はポポロ、リージョンプラザ等の他施設に任せ、図書館は文化の醸成や伝統文化の継承、学習能力の向上などに絞り込むべき。 市外の人が図書館の利用より三原市の情報を得る場として、観光案内所の役割を持たせるという計画なのか。それとも市外の人が、わざわざ利用したいと思う資料や、独自の図書サービスの提供を想定しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「調べたい、勉強したい意欲に応えられる学べる場」というフレーズを、「4 基本方針」 「(2) 子どもや青少年の学習を支援する図書館」にキーワードとして記載させていただきます。 この「個がつながり輪が広がる図書館」というフレーズには、個人が学ぶだけの従来型の図書館機能に様々な新しい要素を追加する上で重要であると考えておりますので、このままとさせていただきます。 10ページに示しているとおり、「生涯にわたり学び続ける意欲に応えること」を新しい図書館の基本方針に位置づけております。また「個がつながり輪が広がる図書館」とは、今の図書館に求められる「市民の居場所や交流の場と提供する役割」を表現したものであり、新たな図書館のあるべき姿として適当であると考えております。 観光案内等については、駅前立地の特性を考え、その活用について具体には今後検討いたします。市外からの利用者についても、魅力ある図書館を目指します。
	複合施設を望む	<ul style="list-style-type: none"> 図書館だけではなく複合施設を望むご意見もありました。 駅前活性化のイメージとして、図書館よりショッピングモールの方が、人の出入りが増えると思う。駅前に図書館を建設するのであれば、図書館の上下階に誰もが気軽に買い物できる施設を設置して欲しい。 下層階に商業店舗、上層階にホテルなど、人が集まり、活性化が期待できる複合施設を検討して欲しい。複合施設が難しい場合は、当面屋台村を設置した方が、図書館より良いと考える。 複合施設として魅力ある施設を併設すれば相乗効果で人の集まる賑わいのある駅前になる。 駅前に図書館ができることに反対します。駅前は新幹線停車駅にふさわしい何かが欲しい。そのひとつとして図書館が有るのであれば良いと思う。三原市以外の人達が三原に来たくなる様な市にして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、市と民間事業者が連携し、「人があつまり、にぎわいにつながる場所」として官民複合施設を整備するもので、図書館だけを整備するものではありません。 民間施設部分は、民間事業者が本市の状況(商圈調査など)や事業採算性、図書館や広場との連携などを検討し、にぎわい創出につながる店舗構成や、図書館・広場も含めた建物の配置など、民間ノウハウを活かした提案を受けることとしております。 提案された内容を評価したうえで、最も良い提案を選定し、駅前に相応しい活用を実現していきます。
		<ul style="list-style-type: none"> また、美術館等の併設を望むご意見もありました。 駅前に美術館と図書館が隣接する丸亀市を参考にしてミニ美術館を併設してほしい。 中央図書館と歴史民俗資料館を駅前に移設し、複合施設とした方が、人員的、経費的にも管理運営的にも最良の選択と思う。 郷土資料を中心とした歴史民俗図書館・体験型資料館として新しい図書館を位置づけてはどうか。 歴史民俗資料館は三原城に近い場所にあった方がよい。円一町では市外から三原城を見に来た人には、歴史民俗資料館を見つけれない。 三原市には美術館がないので、それにかわる展示ができるギャラリーの併設してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館と、美術館や歴史民俗資料館との複合については、駅前東館跡地は公共施設のみで活用するものではなく、民間施設も合わせ複合的に整備するため、他の施設も合わせて整備する計画とはしていませんが基本計画(案)の15ページの「(11) 歴史・文化や地域資源に対する情報の発信」に記載しているとおり、新たな図書館内に三原らしさを感じることができるところを設け、歴史民俗資料館の所蔵資料などを展示するなどの情報発信も行います。 美術館については、当面整備する予定はありませんが、既存のリージョンプラザ展示ホールなどを活用し、引き続きさまざまな作品に触れる機会を提供してまいります。

項目	属性	意見概要	回答
基本理念	図書館では人は集まらない、活性化にならない	<p>また、図書館では人は集まらないという意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口当たり貸出冊数が平均値の半分と、利用度の少ない中央図書館を、三原市の玄関である駅前に移転し、床面積を増やしても利用が増えるとは思えない。 ・図書館を建てると人が集まるとは安易な考えだ。通勤者や観光客が立ち寄るかもしれないが、図書を借りたり、読んだりするとは考えられない。まして、周辺商店等への波及効果と記載があるが、周辺は食堂街で利用できる商店はない。 ・静かに本を読む場所で、どのようににぎわいを創出するのか、具体性に乏しい。 ・福山駅前のビルが空く時代に、三原において市の建物で活性化に繋げることはできない。 <p>これら以外にも</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化を人集めの場所と考えるいください。 <p>という意見もありました。</p>	<p>・現中央図書館の貸出者数、貸出冊数は平成23年度をピークに減少傾向にあり、利用促進を図るためにも、スペース不足の解消など施設面の課題解決とともに、レファレンスサービスの充実、開館時間の拡大など、運営面での改善に取り組む必要があります。駅前に移転することで、現中央図書館の抱える問題点を解決し、これまで利用されなかった方々が利用されるような、おしやれで使いやすい図書館をめざします。</p> <p>・平成17年度に実施された文部科学省の「学習活動やスポーツ、文化活動に係るニーズと社会教育施設に関する調査」では、社会教育施設の中で最も利用頻度の高いものは図書館であり、他の美術館や公民館などに比べ高い利用となっており、またすべての年齢層で図書館の利用が最も高いという結果があり、さわめて集客力、認知度の高い公共施設であります。このような点から、全国的にも駅周辺などの中心市街地に図書館を再整備し、多くの利用者呼び込むことに成功した事例も多く、一定の集客効果は実証されていると考えております。</p> <p>・文化庁による「国語に関する世論調査」(平成26年3月)では「1冊も本を読まない」との回答が47.5%に上がっており、読書離れが深刻となる中、こうした集客力を高めた図書館は、市民が書籍に触れるきっかけを生み出すと考えており、図書館を単なる人集めの施設と考えてはおりません。また、図書館だけで駅前にぎわいを創出する計画ではなく、にぎわい創出につながる民間施設も合わせて整備するものであり、この民間施設と魅力ある図書館、憩いや安らぎを提供イベントなどに使いやすい広場との相乗効果を期待するものです。さらには、中心市街地活性化基本計画を平成27年に策定し、さまざまな活性化事業にも取り組んでおり、このような総合的な取組により、にぎわい創出を実現していく考えであります。</p>
行きたい・過ごしたい場所としての図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・駅前は多くの学生が行き交う場所で、学生の利用が増えると思うので、学生や子供たちが利用しやすい雰囲気をつくってもらいたい。 ・中央図書館が、心地よい空間で誰でも気軽に立ち寄れる図書館に生まれ変わることは、今後の三原市が元気になる契機になり、財産となると思う。 ・人と人との交流を生み、心地よい空間でゆったりと時間を過ごせる場所の筆頭に、多くの市民が図書館をあげるとは思えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、多くの学生や子どもの利用が増加することも考えられますし、それに対応できる雰囲気づくりや学生や子どもが図書館を好きになってもらえるようなイベント等も企画してまいります。 ・全国各地で、カフェを併設するなど心地よい空間でゆったりと時間を過ごせる図書館の整備が進む中、本市としても、市民のサードプレイス<自宅でも職場でもない、心地よい第三の居場所>となるような雰囲気作りに努めます。
資料の収集・保存		<p>資料の収集・保存については</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選書は誰が、どのような基準、方法で決めていくのか。 ・ツタヤ図書館での不適切な図書購入がありました。「ニーズにこたえ」とありますが、購入する図書の選定方法が気になります。 <p>といった選書に関するご意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者がWeb閲覧用パソコンを使用し、約50種類の辞事典、雑誌などが検索でき、重い「大辞典」なども手軽に調べることができる、ジャパンナレッジのデータベースの導入を検討して欲しい。 ・中国新聞データベースの閲覧は新中央図書館でも継続して欲しい。 ・絵本など実際の図書と子供のふれあいを永続的に確保するためにも、その他の資料の電子化による費用削減を考慮する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の選定方法は、毎週発行される新刊図書案内の中から、一般書、児童書、絵本等のバランスを考慮し、また話題性の高い新刊書等市民の要望に応えられる図書を、図書館職員を委員とする図書館資料選定委員会において選書を行い、購入しております。辞典・図鑑・全集類や専門性の高い図書につきましては、多少高額であると同時に、利用される方もある程度限られるますが、公共図書館として所蔵していかなければならないと考え、十分に精査のうえ購入しております。 ・ご指摘の不適切な選書問題は、通常では考えられないものであり、当館では今後も適切な選書に努めてまいります。 ・電子図書や各種データベースの導入や活用については今後の検討となりますが、中国新聞データベースは今後も継続していく考えです。
分館・コミュニティセンター・公民館との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館とその他地区の図書館との連携は、どのようにするのか。 ・他館との連携は、単なる情報交換ではなく、A館はこの分野に、B館はこの分野にと棲み分けることにより、広域的な質の向上が図れると思う。 ・移動図書館の復活をお願いしたい。 ・公民館での図書の貸出・返却は是非実現して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和49年から始まった移動図書館ですが、三原中央ライオンズクラブから寄付していただいたライオン号の老朽化で、平成17年から休止となっております。今後移動図書館を再開することは、車輛購入などに多額の費用が発生することから、現在考えておりません。 ・公民館やコミュニティセンターでの図書室を設けて、定期的に中央図書館から図書の入れ替えも行って、地域の読書活動推進に努めております。
子供と保護者が安心して過ごせるサービスの提供		<ul style="list-style-type: none"> ・気兼ねなく利用できる滞在スペースや子供用トイレなど、一定の配慮が見られ、子育てのしやすい環境、居場所づくりだと感じる。 <p>という評価をいただき、また、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児が転倒して頭を強く打つことの無い様、安全な床にしてください。 ・出来れば、児童コーナーに専用的小カウンターがあれば良いと思う。 <p>というご要望をいただきました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご要望を受け、床につきましては、一部をカーペット敷きとするなど、幼児・児童が安全に、また寝転がっても本が読める快適な場所づくりをめざします。 ・また、児童書架専用的小カウンターを設置し、このカウンターからは幼児用トイレ出入り口も視野に入るよう設計に留意することとします。

項目	属性	意見概要	回答
図書への興味や、読書習慣を身につける雰囲気づくり		<p>この項目については多くのご意見、ご要望をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生や子供たちをターゲットにしたイベントを多く開催し、図書館を利用するきっかけ作りに入力してもらいたい。 ・中高年生用の読書会やビブリオバトルを開催して欲しい。中高生を対象とした取り組みが今後の鍵を握るのではないのか。かなり期待します。 ・絵本や大型絵本、紙芝居、エプロンシアターなど読み語り資料を充実させ、市内や他市のボランティアにも頼られる図書館にする。 ・読み語りの場所に、幼児や小学生が誰でも全員参加できる場所を設置して欲しい。 ・絵本の充実、読み語り用図書の充実、子ども室に、親子並び座って読み聞かせできる小さなソファを置いてほしい。 ・読み語りコーナーを設ける。読み語り、素語り、ブックトーク、エプロンシアターなどの講習会を開き、小さい子どもを持つ父母が参加できるようにするなど、読み語りボランティアを増やす取り組みを行ってほしい。 ・実施には継続的、長期的な取り組みが必要と思うが、段階的な実施計画の策定等を考えているのか。 	<p>・図書館へのいざないや読書のきっかけ作りのため、児童、生徒を対象としたイベントや講座を企画、開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み語りや紙芝居、エプロンシアター、人形劇等が催せるコーナーを作ります。単なるスペースではなく、劇場風にするなど意匠に配慮し、必要に応じて仕切ることを可能としたり、暗幕も設置するなどの工夫をしたいと考えています。 ・ソファはスペースの関係上、設置が困難かもしれませんが、柔らかいマットを敷くなど親子がゆったりと過ごせる場づくりに配慮します。 ・本市では読み語りサークルのみならずが活発に活動されていることから、ボランティア室をご用意し、協働でのイベント開催等によって更に盛り上げていく考えです。 ・ご指摘のとおり、継続的、長期的な取り組みが必要であるため、今後指定管理者の募集条件等を整理する中で、段階的な計画の策定について検討します。
学習環境の整備		<p>学習環境の整備、特に学習室についても多くのご意見をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習スペースは極めて脆弱であり、面積が少ないだけでなく、採光や備え付けの机、椅子などが極めて使いづらい。 ・2人掛けの机は1席を荷物置き場にするので、1人掛け机にするか、真ん中に衝立のあるものがないと思う。 ・学習室に対する潜在的ニーズは高い。 ・学習席をできるだけ多くしてください。学生は新しい中央図書館を勉強の場を選びます。 ・駅前には塾が多いので、学生が図書館を利用する機会が増えていくと思う。駅前に図書館が有ることで親も安心できると思う。 ・利便性の高い駅前に中央図書館ができることにより、中央図書館が、学生など若者の学習スペースなど居場所として機能することを期待する。 ・といった学習室に期待するご意見を多くいただきました。また、 ・過度に閲覧室を自習用に開放することは、むしろ図書館サービスの遂行を妨げることになる。原点に立ち返り図書館サービスのあり方の再検討をお願いしたい。 ・受験、試験勉強のための図書館利用者は他の人の迷惑なので、締め出すべきだ。 ・学習できるスペースはできるだけ静かに利用できるようにしてほしい。 ・「図書館を使った子供の調べる学習」は、公益財団法人図書館振興財団の登録商標となっている。また「調べる学習サポーター」および「調べる学習講習会」は、特定の民間企業が他の公立図書館運営で実施している特別な名称であり、特定の民間企業に有利な記載となりうるため、表現の変更を要望する。 ・というご意見もありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の照明や机、椅子等につきましては、快適に使用いただけるものを設置いたします。 ・現状においても、学生を中心とした自習室のニーズは高く、中央図書館だけでは席数が足りずに隣の中央公民館の空き部屋も状況に応じて自習室として開放することもあります。 ・学生が多い駅前においては、この自習室のニーズは更に高まることと容易に予想されますので、専用の自習室を設置し、図書を閲覧される一般の利用者と自習する学生等の分離を図ります。 ・「図書館を使った子供の調べる学習」は、公益財団法人図書館振興財団の登録商標のため、「図書館での子供調べ学習」に変更いたします。また「調べる学習～」は特定の民間企業等の登録商標ではありませんが、そういった誤解を避けるため「調べる学習サポーター」および「調べる学習講習会」は「調べ学習～」に変更いたします。
学校及び学校図書館との連携と支援強化		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども司書受講者、認定者の活動継続支援をお願いします。子ども司書養成講座だけでなく、OBも含めた子ども司書認定後の活動の場を提供ください。 ・学校図書館整備の支援や、百科事典、教科書単元に沿った本など、学習支援用図書セット本の選書・購入・貸出、調べ学習の出前講座などを実施する学校図書館支援センターを設置し、学校図書館と学校教育に明るい人材を確保のうえ、専任として配置してください。 ・公共図書館と学校図書館の本の送付便利用を可能にして欲しい。 ・本の修繕方法、ブックトーク、アニメーション、ヤングアダルト図書の読書会、ビブリオバトル、本屋さんの裏情報、図書クイズラリー、本の見本展示会など豊富な種類の講座・講習会の開催を実施ください。 ・資料整備、修理等に関わる援助について、学校図書館への支援、派遣もお願いします。 ・学校及び学校図書館、団体貸出専任の担当者を配置して欲しい。 ・調べる本や授業で使う本を分かりやすく配本して欲しい。 ・図書館主催の講習会、読書会を開催して欲しい。 ・小学校3年生、4年生は郷土調べをするので、各学校への出前講座が良いのではないかと、あるいは、学校単位で社会見学を兼ねて図書館で学習するのも良い。 ・といった多数のご要望をいただきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年の学校教育法の改正では、義務教育の目標に「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」が規定され、平成20年には、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(第二次)」の閣議決定、学習指導要領の改訂、図書館法の改正があり、中央教育審議会からは「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」が答申されました。この中央教育審議会答申の中でも、公共図書館は「子どもの読書活動や学習活動を推進する観点から、学校図書館への支援を積極的に行うことが重要である。」と支援の必要性が述べられています。 ・このことから、いただきましたご要望につきましては、別途、市として検討していきます。子どもの読書活動は、国語力を高めるだけではなく、感性を磨き、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。子どもの読書を更に推進するため、今後も図書館と連携を密にさせていただきますようお願いいたします。

項目	属性	意見概要	回答
郷土資料の充実		<ul style="list-style-type: none"> 現在の中央図書館閉架書庫には、多くの貴重な郷土資料があるが、痛みがはげしいものも多く、閲覧もままならない。計画的にデータベース化して、より多くの人が、簡単に閲覧できるようにして欲しい。 国土地理院発行の当時の地図、地形図、地質図などが乏しく残念。 独自の郷土資料をまとめるなどして、貸出できる資料を増やして欲しい。 郷土資料専門の職員が居るとありがたい。 図書館を事務局とした、(仮称)図書館友の会を設立し、市民参加の機会を増やし、市民の協力で研究を進めることが、歴史文化を大切にしまちづくりにつながると思う。 市の財産である歴史資料や行政史料が散逸しないよう、関係部署(総務課、文化課)と連携しながら、整理・保存・継承・公開を行っていくことが、市の歴史研究を深めることにつながる。 合併後10年が経ち、今後新三原市史の編纂のため資料収集、調査研究が必要になってくるので、合併前の行政文書や町史編纂史料の所在の確認や目録化、公開が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料の充実については、三原市内発行資料の収集の充実と専用閲覧コーナーの充実に努めます。 地図資料など今後の充実を努めます。 三原市史資料・歴史資料及び行政文書の保存・活用について、昭和5年の図書館開設以来、三原市では図書館と文書館を併せた業務を行ってきましたが、駅前図書館では対応できないと思われるので、今後は担当関係課と、協議・検討していきます。
歴史・文化や地域資源に対する情報の発信		<ul style="list-style-type: none"> 「市内の文化施設等」とは具体的にどこの施設のことで、どのように連携をはかっていくのか方針を示してください。 (駅前)に図書館を移転するのは反対だが)一部特設スペースに三原の歴史紹介・観光案内コーナーを設け、歴史に興味の無い人にも分かりやすく、また市内・市外から来た人に自由に立ち寄り頂くスペースとしてはどうか。 現在の中央図書館には、県重要文化財や市重要文化財をはじめ、貴重な古文書などが所蔵され、図書館機能プラス古文書館役割を担っている。図書館部分の計画とともに古文書館的役割をどうするのか。十分検討ください。 現在の中央図書館の跡地利用については、分散して保管している公文書を適正で安全に保存していくため、公文書館の設立を検討ください。 歴史・文化講座や古文書読解講座などは、専門知識のある文化課・歴史民俗資料館等で企画展及び講座を開催するのが良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館においては、これまでも図書館所蔵資料だけでなく、歴史民俗資料館所蔵資料なども活用し企画展示及び講座を開催してきました。併せて、市民団体企画の展示場所として提供してきました。 今後も図書館所蔵資料をはじめ、歴史民俗資料館所蔵の資料なども活用した企画展示ができるように努めます。 歴史・文化講座及び古文書講座は図書館所蔵の資料に基づいて講座を開催してまいりました。今後については関係課と協議して検討していきます。 歴史民俗資料の活用や古文書館などのご提案については、関係担当課で検討していきます。
おしゃれで雰囲気の良い空間の提供		<ul style="list-style-type: none"> (駅前)に図書館を移転するのは反対だが)図書館内が無音は寂しいので、癒しの音楽が流れているなど、ゆったりできるスペースにして欲しい。市民が居心地良く過ごせる空間作りを目指して欲しい。 広島大学図書館、福山市立図書館など、新しい近隣を見学してプランを考えてください。まず明るく、天井が高く、見通しの良い空間としてください。 おしゃれで雰囲気の良い図書館にしてください。 「心地よい第三の場所(サードプレイス)」この言葉を入れていただき、とても嬉しい。 別におしゃれでなくても良い。おしゃれかどうかは、人の見方によって変わる。 	<ul style="list-style-type: none"> いただきましたご意見、ご要望を参考にさせていただき、おしゃれで雰囲気のよい図書館を目指します。 市外の図書館も視察しており、これらのよい点は取り入れてまいります。 おしゃれかどうかは人の見方によって変わるのをご指摘のとおりですが、一般的に大多数の方がおしゃれと感じる建物や空間づくりにより、従来の利用者に加え、あまり利用されていなかった人にも図書館を利用してみたいと思われるような雰囲気が感じられる場所をめざします。
カフェ・交流スペースの提供		<ul style="list-style-type: none"> 利用者がのんびりできるカフェがあるのは良いと思う。 という期待するご意見もありましたが、図書館の中でのカフェは必要ない。 付随する飲食の施設等は、図書館の環境を本当に考えるなら不必要なもの。 公共物である図書館を飲食しながら読むのは、図書が汚れるので反対だ。 という飲食を否定するご意見もありました。 	<ul style="list-style-type: none"> 心地よい、おしゃれな空間の提供とともに、ゆったりとくつろいで時間が過ごせるよう過ごせる場として、コーヒーやお茶を飲みながら読書を楽しめるスペースの設置を考えております。読書のスタイルは、利用者によって異なるものであり、様々なニーズにお応えすることも必要と考えており、コーヒーなどを飲みながら楽しめるスペースを設定については、開館までの運営条件の決定の中で、さらに検討します。図書が汚れるとのご指摘も理解できますが、貸出しされた図書はご自宅で飲食をともなって読書されることもあると想定され、また飲食可能なスペースの設定等に配慮することで、対応可能と考えております。
魅力的なイベントや行事、展示の実施		<ul style="list-style-type: none"> 百人一首や短歌のコーナーを設け、関連蔵書を充実させる。庭や館内に百人一首をデザイン・展示などし、年に一度百人一首大会、小学生対象には五色百人一首大会を実施する。短歌を募集し、みはら百人一首を作成する。短歌や俳句の講習会を開くなど。図書館を拠点に、三原を百人一首の町にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニークかつ具体的なご提案をいただきました。図書館利用を促進するためには、さまざまなイベント開催も必要と考えており、今後の参考にさせていただきます。

項目	属性	意見概要	回答
各種サービスの核となる人材の配置、体制整備		<ul style="list-style-type: none"> ・返却された資料の確認などを入念に実施できる要員の確保が必要ではないか。 ・丁寧な受付や、問い合わせに対する行き届いたご案内及び静かな館内など、サービスの質は維持して欲しい。 ・「企画力のある人材」とは具体的にどのような人材を想定しているのか。 ・本についての知識など、幅広い見識を持った人材が必要。 ・9ページの表7によると、現在の中央図書館は専任職員数が5人、うち司書が2人、非常勤・臨時職員数が16人であり、目標基準例と比較して少ないと思う。(仮称)駅前中央図書館基本計画(案)の業務を行うためには、相当数の人材確保が求められるが、具体的に確保の人数や、専任正規職員司書の人数や割合を検討しているのか。しているなら目標人数はあるのか。 ・専任の司書が少なすぎる。本郷図書館、久井図書館、大和図書館を含めて専任司書の増員をお願いする。 ・児童サービス専門の司書の配置を非常に期待しています。 ・専門知識を有する司書は、できるだけ雑用から遠ざける工夫も必要。 ・職員は臨時的雇用だけでなく、長期的雇用の専門知識をもった方を配置して欲しい。 ・司書は重要であり、派遣スタッフではなく、正規職員と明記していただいているが、図書館司書を確実に確保すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大量の情報を蓄積、整理する図書館の運営には高度の専門知識が必要です。そのために図書館情報学という学問分野が確立しており、図書館法により図書館司書という図書館を運営するための資格が規定されております。この司書を一定数確保することは、利用者満足していただくサービス提供のために必須であります。司書の役割は、図書館のある地域事情や利用者のニーズを十分に把握したうえで、必要な情報の提供や、各種資料提供、データベースや目録の作成、リファレンスサービスの提供など多岐に渡り、図書館に従事する者の中で最も重要な役目を担いますが、現状では残念ながら人員数も不足していると考えております。 ・新たな駅前中央図書館においては、指定管理者による運営を想定していますので、指定管理者の募集条件等を整理する中で、司書の配置についての条件を設定するなど、人材や体制強化を図ってまいります。
駅前東館跡地に立地する新たな図書館としての役割		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい図書館は週に1日か2日閉館時間を21時にしてほしい。 ・通勤、通学中に利用する現役世代向けには、インターネット予約した本の受け取りと、回転の良い新刊のみを扱う小規模の分室が良い。 ・ICタグ等の導入によるサービスの迅速化に賛同します。貸出作業時間の短縮を望みます。 ・洋書をもう少し増やして欲しい。(外国人向けの多言語化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前という立地条件、またサービス向上のため、閉館時間は現状より延長することが望ましいと考えております。指定管理者の募集条件等を整理する中で、適正な開館時間の設定について検討します。 ・通勤、通学中の利用者については、ICタグと自動返却、貸出機の導入によって迅速なサービス提供を目指します。 ・洋書の蔵書を増やすことについて、検討いたします。
民間・市民との協働 指定管理者制度の導入		<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者による運営を導入することについて ・運営における民間活力導入は反対です。図書館の民営化は全国の自治体で問題となっている。導入による経費削減効果も期待とは、職員を正規雇用から臨時的雇用等に換えて経費を削減されることとなり、結果図書貸出し状況など個人情報の保護が守られなくなることを危惧する。 ・市外の事業者による運営は、三原駅前重要な立地につくる施設が、三原市の資金流出装置になってしまうのではないかと危惧する。せっかく図書館協議会の拡充や、市民参画の推進をされるのですから、それらを通じて三原市内に担い手育成することを第一段階とし、次のステップとして民間事業者による運営に切り替えるべきではないのか。 ・基本計画(案)のサービス内容を実現するため、図書館業務に精通した、司書等の専門家集団が居る業者選定が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者による運営(指定管理者制度)の導入について、全国の自治体で問題になっているのご指摘については不適切な選書や郷土資料の廃棄などで問題となったものと理解していますが、指定管理者制度へ移行した後も、選書や蔵書管理に対して一定のルールを設け、市が責任をもって関与するものであり、このような問題が発生しないよう取り組んでいきます。また、他都市の指定管理者導入事例では、閉館時間の延長や各種イベントの開催など、民間ならではの発想や企画力によって、利用者数や貸出冊数が増加するという利点もあり、このようなサービス向上につながることをめざし、指定管理者を導入するものです。 ・指定管理者制度の導入は、図書館の義務や性質を変えるものではなく、専門知識を活かして「よりよく運営する」と考えております。 ・また図書館協議会や市民参画の推進は図書館の運営そのものを担う目的ではありませんが、指定管理者導入後も、市、指定管理者、図書館協議会、ボランティアがしっかりと連携しながら、より良い図書館運営をめざしてまいります。
民間・市民との協働 ボランティア		<ul style="list-style-type: none"> ・書架の整理や、図書の貸出、返却など簡易な業務はもっと市民ボランティアを活用すれば良いのではないか。 ・市民ボランティアを、ただで使おうという魂胆が丸見え。 ・まちづくりに寄与する図書館として重要なことだと思います。様々な機関、団体との連携を推進していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによるサポートについては、利用者のみならず快適な図書館を協働して作り上げる発想であり、利用者の期待や意思などを反映させるための仕組みづくりの考えが根底にあります。引き続きボランティアの皆様の協力を得ながら、より良い図書館運営を行ってまいります。

項目	属性	意見概要	回答
主なコーナーの整備の考え方、主な面積	駐車場	<p>主なコーナーの整備の考え方、主な面積においては、特に駐車場へのご意見、要望が多く寄せられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前是有料駐車場しかないので、利用者の経済的負担が大きく、駐車スペースに困る。 ・駅前移転で駐車場不足はどう改善されるのか。 ・多くのイベントを企画するのに、駐車場50台は少なすぎる。駐車場を図書館利用者専用にして欲しい。 ・駐車場をしっかりと確保してください。 ・駐車場は50台では少なすぎる。駅周辺の他施設利用者も駐車すると思うので、150台～200台は必要と思う。 ・運転に自信が無いので、新しい中央図書館の駐車場の車間スペースは広くしてほしい。 ・三原では車が欠かせない。駐車場があるとさらに多くの人利用できると思うので、広い駐車スペースを期待する。 ・駅前なので図書館利用目的以外の駐車があるのではないか。 ・駐車場も制約されて不正駐車も考えられる駅前には図書館を設置しないでください。 ・駐車場を34台から50台にしても意味が無い。 ・立体駐車場は不便であり、どのような駐車場にするのか？ ・無料駐車時間はどのように設定するのか？ ・一般駐車場50台の算出基準はあるのか。 ・全国的に、駅前の空洞化は、モータリゼーションによって公共交通が利用されなくなったり、住宅や商業施設が郊外化したことに原因がありますが、今回の中央図書館の移転新設は、発端が中心市街地活性化のためとされており、駐車場の設定はかなり重要な要素だと思う。 ・駅前の中央図書館駐輪場にJR三原駅利用者が駐輪してしまうので、図書館利用者が駐輪できない。 	<p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前東館跡地には、図書館のみならず民間施設も合わせて整備するため、図書館利用者とともに民間施設利用者のための駐車場も必要ですので、別々に整備するのではなく、一体的に利用できる駐車場となることを想定しております。 ・そのため、駐車場の台数は民間施設の業態や面積によって変わるものですが、図書館利用者のために50台分(現在の中央図書館利用者の交通手段として車利用の割合は約65%、駅前移転した場合の利用者数を1日当たり1,000人程度を見込む、仮に1日12時間の開館時間とすると、1時間あたり概ね50台が必要)は確保することが必要と判断し、民間施設での必要台数に加算して適切な駐車台数を確保することを条件としております。 ・敷地面積が限られるため、立体駐車場となることが想定されますが、図書館や民間施設との連携を踏まえ、民間事業者からより良い駐車場の配置、利用方法について提案してもらいます。 ・図書館専用の無料駐車場とはしないため、有料駐車場となりますが、利用者の利便性に配慮し、図書館利用に対して、一定の無料駐車時間を設定したいと考えております。 ・駐輪場も民間事業者から提案されるものですが、駐輪場がいつも満車で利用できないことにならないよう、管理運営方法等を協議しながら適切に対応します。
	その他	<p>その他に様々なご意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に立ち寄れる場にするため、気軽に座れる椅子を多くしてください。 ・開架エリアの席数160席は少なすぎる。一人でゆったり座り、本を読めるスペースが必要。300席は必要と思う。 ・集会・研修エリアで95席。もし講演などがあった場合、200人～250人の参加は想定したほうが良いと思う。 ・中央図書館の規模が分からない。敷地内のどの位置に建設するのか、何階建てなのか、ガラス窓は東西南北どの方向に大きく開き、そこにはどのような空間をもってくるのか。 ・ヤングアダルトコーナー＝YAは図書館用語で広く青少年には知られていない。県立図書館などでも名称を変更している。 ・電子読書できる設備や場所を検討して欲しい。 ・レコードが聴ける視聴覚ブースにしてください。 ・閉架書庫は自動書庫を設置して欲しい。 ・児童書エリアの書架は、木育の観点からも木製書架を設置して欲しい。 ・絵本コーナーは、利用者にわかりやすく工夫し、絵本を取り出しやすいよう、余裕を持って並べてください。 ・施設の南側が全面硝子張りの場合、夏場は館内が高温となるため、新中央図書館は窓の大きさや遮熱などを考慮いただきたい。 ・貸出・返却カウンター内に大型絵本や資料付属の視聴覚資料を保管するのであれば、カウンター内は広いスペースを確保して欲しい。 ・中央図書館で活動するボランティア団体の道具や荷物を置く場所を確保して欲しい。 ・現在の中央図書館は、本棚の高さが図書の高さと合っていないので、ゆったり図書を並べられる高さの本棚にして欲しい。 ・複写依頼書を書いて複写してもらうのは時代遅れだと思う。コイン式セルフ複写機を導入してはどうか。 ・利用者が使用できるロッカーを設置して、余計な荷物は預けるよう誘導すればいいと思う。 ・静寂さが基本であり、歩行音について適当な床材の選定を。 ・館内バリアフリー化及びエレベーターや手すりの設置など、車いす対応を検討して欲しい。 ・障害者コーナーとあるが、コーナーでの対応よりも、図書館全体が誰でも利用できるスタンスでつくってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子の数は、270席以上を確保する考えです。 ・本事業は、市と民間事業者が連携し官民複合施設を整備するもので、図書館の具体的な構造や設計等については、民間事業者からの提案を受けることとしております。 ・いただいた意見により「ヤングアダルトコーナー」を広島県立図書館などと同表現である「青少年図書コーナー」に変更いたします。 ・電子図書の導入や活用については、今後検討して参ります。 ・レコードは現在収集しておらず、今後も困難と思われる。なおCD・DVDについては視聴できる環境を整えます。 ・閉架書庫の自動化については、導入や保守に多額の費用が発生することから考えておりません。 ・書架や窓、床材などについては、いただいた意見を参考に、快適な施設を目指します。 ・大型絵本は開架(児童書架)スペース内に配架する考えです。 ・中央図書館で活動するボランティア団体に活用していただくボランティア室を設置する考えです。 ・利用者が、コイン式複写機で自由にコピーを取ることは、著作権法第31条の規定において、物的にも人的にも図書館が主体となって複写することが前提となっていることから、困難です。しかし、諸条件をクリアすれば可能ですので今後の検討課題とします。 ・利用者用ロッカーをエントランスホールに設置する考えです。 ・全館をユニバーサルデザインに配慮し、すべての利用者が快適に利用できる施設にいたします。なお、ご指摘のとおり、「障害者コーナー」という表現は、誤解を招くため、記載を削除いたします。